

発 言 者	議 事
議	〔10月1日〕
議	長 皆さん、おはようございます。
議	長 ただいまの出席議員数は9名であり、定足数に達しておりますので、令和7年第4回厚沢部町議会臨時会を開会します。（10：00）
議	長 これより本日の会議を開きます。
議	長 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
議	長 会議録署名議員は会議規則第118条の規定により、1番 中山俊勝 議員、6番 小野寺孔 議員の2名を指名します。
議	長 日程第2 諸般の報告、日程第3 一般行政報告につきましては、別紙印刷して差し上げておりますので、朗読及び説明を省略します。
議	長 日程第4 会期の決定について、議題とします。
議	長 お諮りします。本臨時会の会期並びに議会運営については、所管の議会運営委員会において協議されておりますので、委員長から報告を求めることにしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長 異議なしと認めます。
議	長 委員長の報告を求めます。
議	長 委員長 議会運営委員会の委員長報告を申し上げます。

<p>議 長 議 長 議 長 議 長 町 長</p>	<p>本日10月1日、議会運営委員会を開催いたしました。本日をもって招集されました令和7年第4回厚沢部町議会臨時会の運営につきましては、議事日程によることとし、会期については、本日1日間とすることに決定しましたので、報告いたします。</p> <p>なお、提出案件の審議については、質問者、答弁者とも簡潔明瞭な質疑、応答を心がけ、円滑な議会運営を行いますよう御協力をお願いし、委員長報告といたします。</p> <p>お諮りします。本臨時会の議会運営については、委員長報告のとおりとし、会期は本日1日間にしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）</p> <p>異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間と決定しました。</p> <p>提出案件は、補正予算案1件、議員の派遣1件であります。</p> <p>町長から提案理由の説明について、発言を求められておりますので、これを許します。</p> <p>町長</p> <p>令和7年第4回厚沢部町議会臨時会の開会にあたり、一言ごあいさつと、提案理由を申し上げます。</p> <p>まず初めに、8月の大雨による被害について申し上げます。8月19日から21日にかけて低気圧や前線が通過し、渡島・檜山地方では激しい雨が断続的に降りました。鶉気象観測所では、降り始めからの降水量は127mmを記録しました。実際には鶉観測所よりも北側の地域で記録以上の雨が降ったと考えられ、人的被害こそなかったものの、土砂災害、河川の氾濫、農地への土砂や流木の流入など数多くの被害が発生しました。</p> <p>被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、復旧工事等も早急に取り進めてまいります。</p>
--	--

近年は全国各地で常識や想定を上回る豪雨が発生しており、先日は釧路、十勝管内で道内初の線状降水帯が確認されるなど、災害のリスクが年々高まっております。

日頃からの災害に対する備えが重要であります。関係機関と連携を図りながら、引き続き防災・減災対策に万全を期してまいります。

また、来年4月運用開始を目指し、現在導入を進めております防災情報配信システムを活用して、さらなる防災体制の強化に取り組んでまいります。

なお、現在希望調査を実施しておりますが、希望される方には戸別受信機を無料で貸し出しいたします。一部要件はありますが、可能な限り希望される方々に提供できるよう取り進めてまいります。

先日7日、石破総理大臣が辞任を表明し、22日に告示された自民党総裁選挙は10月4日の投開票を経て新総裁が選出されます。衆参両院で少数与党となり、自民党の新総裁がそのまま首相になるという保証もなく、極めて不透明な政治情勢となっております。地方自治体においても、誰が総理大臣になるのか、どのような政策が実行されるのか見通しが立たず、町政運営にも少なからず影響が出てくるものと懸念しております。

あらゆる繋がりを用いて最大限の情報収集に努め、国の施策に即座に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、今年度の大型事業であります、道の駅改築工事関連事業の進捗状況について申し上げます。

現在建設中の緑町ふれあいセンターは、今月末に完成予定となっております、旧緑町コミュニティセンターを道の駅の仮店舗とするための改修工事は、11月13日の完成を見込んでいます。こ

れにより、随時引っ越し移転作業を行い、現在の道の駅産業会館を解体する運びとなります。

解体終了後は、新たな道の駅物産館の整備を進めていくというスケジュールになっております。新道の駅物産館は来年の11月頃の営業開始を目指しており、その間は仮店舗での営業となりますので、物産館をご利用される皆様には何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新たな道の駅は厚沢部町の顔となり、核となる施設であり、町の魅力発信基地として町民の皆様にも愛される道の駅となるよう取り組んでまいります。

次に、本臨時会に提案いたします案件は、補正予算案1件であります。

議案第1号の令和7年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、1億1,208万円を追加し、予算の総額を58億5,280万2,000円とするもので、内容は、先ほども触れましたとおり、8月19日から的大雨により被害を受けた道路や河川等の災害復旧のための事業に係る所要額を補正するものであります。

緊急を要する災害復旧事業の予算につきましては、先般、専決処分をさせていただいたところですが、その後、農業生産者の要望を調査し、取りまとめたものなどを計上しております。

なお、小規模災害復旧事業につきましては、近年の事業費高騰による生産者の負担を考慮して、補助上限等の拡充を図っております。国や北海道などに要請を行いながら財源を確保し、引き続き厚沢部町の基幹産業である農業を守ってまいります。

詳細につきましては、副町長、関係課長に説明にあたらせますので、ご審議の上、ご賛同賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

これより議事に入ります。

議

長

議	長	日程第5 議案第1号令和7年度厚沢部町一般会計補正予算について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務財政課長
総務財政課長	長	議案第1号の令和7年度厚沢部町一般会計補正予算について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	最初に、歳入全般について質疑ありませんか。ページ数は4ページから7ページまでです。 （発言する声なし）
議	長	それでは次に歳出の質疑に入ります。
議	長	最初に6款 農林水産業費について。ページ数は8ページです。
議	長	1番、中山議員
中山議員	議員	今回の大雨災害、非常に大きな被害があったわけですが、この説明書を見ますと、今回小規模工事に対しての20万円から50万円に増やしたことは、被害に遭った方には効果があると思うんですけど、この町の3,200万円はわかるんですけど、個人の被害額というのはどの程度になるのか。その辺の合計額を教えてくださいたいと思います。また、個人別に大きい方はかなり大きいと思いますので、その点についても説明していただきたいと思います。 それともう1点。小鶴川の災害が大きいわけですが、今後どのような先を見越した対処をしていくのか、その辺についても説明を併せてお願いしたいと思います。
議	長	農林課長
農林課長	長	小規模災害復旧事業につきましては、予算額としまして3,200万円の補助金を見込んで、

今回予算を計上させていただいております。この補助金につきましては、基本的に補助上限額を20万円から50万円に見直したことによる増額であります。また、個人の負担額がどの程度になるのかということではありますが、町は基本2分の1以内を補助するという考えでございますので、今予算ベースで考えますと、小規模災害復旧事業における被害額としましては、この補助金の倍、6,400万円ほどが被害になるのかなというふうに推察するところでもあります。また、この災害復旧につきましては、これから見積もりを徴収して、農家さんに復旧にあたっていただくんですが、それに予算の不足がないように、全ての地区で最大50万円の予算を計上させていただいているところでもあります。ですので、実績によっては多少減額もあり得るのかなというところでもあります。

次に、個人の被害額の最大額というご質問でありましたが、現在見込みではあります、200万円を超えるような方もいらっしゃるのかなと考えております。これのうちの半分、100万円は町から補助をするという考えであります、復旧にあたってはこれから見積りを徴収したうえで復旧額が確定するということでもありますので、1名で複数の被害、地区を持たれている方もいらっしゃると思いますので、町としては最低でも200万円からもうちょっとかかるのかなと、1人につきましては200万円から250万円、場合によっては300万円くらいまで、地区の数によって個人で増えるのかなということは想定しております。

小鶴川の改修にからめた農業部門の災害復旧ということでお答えしますと、今河川の方の災害復旧の計画も河川管理者の方でされているようであります。町の農業部門としましては、河川でケアしていただける部分がどこまでなのか把握したうえで、河川でケアできない部分をこの災害復旧事業で見たいなと思っております。

議	長	1 番、中山議員
中山	議員	<p>今の課長の説明では、小鶉川については現在協議中ということをございますけども、抜本的にこの小鶉川の河川改修をどうするのか、どう進めていくのかということが今後の大きな課題になってくるのではないかと思いますけども、その辺についてもう一度説明していただきたいと思います。</p> <p>それと、個人で何ヶ所かに分かれて被害に遭っている方、この方は被害額が大きいと思いますけども、その辺についてどのように対処するのか、もう一度説明していただきたいと思います。</p>
議	長	建設水道課主幹
建設水道課	主幹	<p>小鶉川に関しては道河川区域ということで、今用地買収で、どうしても前回計画があったところで買えなかったところがありまして、そこを再度当たってみて買収できれば、今後事業として進んでいくのかなと思うんですけども、なんせ交渉事なものですから、こればかりはなかなか先を見通せないのかなというのが現状であります。</p>
議	長	農林課長
農林課	長	<p>個人の方で各箇所被害に遭われた方の被害ということでありますが、これにつきましては個人1名に対して上限50万円ということではございませんので、被害に遭われた箇所数に応じて災害復旧が可能でありますので、そういった意味でも1箇所につき50万円の上限ではあります。が、全てのしたい箇所に支援できるのかなというふうに考えております。</p>
議	長	1 番、中山議員
中山	議員	<p>小鶉川の河川改修ですけども、今説明では用地を買収できない箇所があるということで進めていけないということになると思うんですけども、この辺についての、やはりこれだけ大きい災害</p>

<p>議 長 建設水道課主幹</p>	<p>になるわけですから、やはり早めに改修工事をやるべきだと思うんですけど、その辺の用地買収についての見通しはどうなんですか。</p> <p>建設水道課主幹</p> <p>どうしても交渉事なものですから、この間私も函館建設管理部の方々、用地の方々含めて折衝にあたったのですけれども、なかなか事業に協力してくれるような状況でないというのが現状であります。ただですね、どうしても被害が大きいものですから、函館建設管理部の方でもここで交渉を止めるわけではなく、随時進めていくということで、娘さんにも折衝して働きかけを行っていますので、町も協力しながら進めていきたいなと思っております。</p>
<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>3番、浜塚議員</p> <p>中山議員の質問に重なる部分があると思いますが、私も質問させていただきたいと思います。</p> <p>8月の大雨による施設、農地及び住宅等の被害に遭われた皆様に対して、心からお見舞い申し上げます。厚沢部町としても今まで道、国との協力のもと、河川の氾濫に対して対策を講じてきましたが、今回の災害は想像をはるかに超える、想定外の大雨による出来事であると考えられます。今回のような大雨による災害は今後また発生する可能性があると思われまます。そこで、今までとは違う想定外という難題の大雨に対する対応となりますが、町としても8月の大雨による災害について検証し、新たな対策を構築する必要があると感じるものであります。町として今後予想される大雨の対策に関して、町長の冒頭のあいさつにもありましたが、具体的にどのように考えているのか説明願います。</p>
<p>議 長 総務財政課長</p>	<p>総務財政課長</p> <p>今後の想定を超える災害にどう対応していくかということだと思うんですけど、まず今回の災</p>

<p>議 員 浜 塚 議 員 議 員 浜 塚 議 員 町 長</p>	<p>害について、事務方ではありますが、関係機関と検証を行っております。今後詳細を時系列で整理したうえで、役場内部で改めて検証し、次に活かしていきたいと考えております。町長のお話しにもありましたように、来年4月の運用開始を目指している防災情報配信システム、こちらを導入した時に各家庭に戸別受信機ですとか、スマートフォンを持っている方にはそちらの方に通知が行くような仕組みになりますので、それを少しずつ運用していきながら、担当としましては地域ごとに個別に少しずつ説明に入って、地域ごとの対応の仕方を構築していきたいと考えております。</p> <p>3番、浜塚議員</p> <p>災害に対する対応は、町民の生命・財産を守り、真に幸せを実感できるまちづくりを進めるうえでの大切な施策であると思います。ぜひとも大雨等の災害による被害が低減される有効な対策の実現を希望して、質問を終わりたいと思います。</p> <p>答弁はいいですか。</p> <p>お願いします。</p> <p>町長</p> <p>前回の大雨に対するご質問をいただいております。これから大雨、今回以上の大雨の可能性はあるということでもあります。一番大きなのは河川の氾濫ということになるのかなと思っております。それがほとんど道河川ということでもあります。今、計画的に安野呂川の方も進んでおりますけれども、先ほどからお話がありました小鶉川ももともと計画があって、買収計画がなくなったというわけではなくて、用地の問題がちょっとあってですね、前になかなか進んでいないということでもありますけれども、今回大きな被害が出たということで、道の方も、町も当然協力してで</p>
---	--

<p>議 議 議 香川議員</p>	<p>すね、ご理解いただくようにしていきたいというふうに思っています。それからまだ河川改修が進んでいない部分もありますけれども、本流の河口の近い方に向かってですね、河床もだいぶ高くなってきているということと、河川木も相当大きくなってきて、流れが悪くなっているということもありますので、その辺もこれから道の方にもお願いしていきたいなと思っているところでございます。</p> <p>他に質疑ありませんか。（発言する声なし）</p> <p>では次に、11款 災害復旧費について。ページ数は9ページから10ページまでです。</p> <p>5番、香川議員。</p> <p>12節 委託料になります。小鵜川相生水源地調査解析委託料とあります。資料NO.2の2ページにもその概要ですね、図がついて被災箇所、土砂等堆積箇所とありますけども、実際、この現状ですね、早急に土砂等の堆積を取り除かなければ、いずれは相生水源地に被害が及ぶ状況なのか、その状況についてももう少し詳しく説明をお願いします。</p>
<p>議 建設水道課主幹</p>	<p>建設水道課主幹。</p> <p>相生水源ですが、資料見てもらったらわかるんですけど、被災箇所の部分がほぼ民地の部分が大半になります。ここは見る限りまだこぼれ落ちていない土もありまして、今後また豪雨があれば下の方に土砂が流出するという可能性は高くなっております。</p> <p>今後の対策なんですけど、どうしても被災箇所の民地の部分の買収等ができないと、なかなか上の方で工法ができないような状況がわかってきましたので、下流だけでどれだけできるのかとか、上流の方のボーリング調査等をやってですね、どれだけ今後被災が広がるのかの検討をしまして、対策を進めていきたいなと思います。現段階で今からこうしますというのは難しいのが現</p>

<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>実であります。</p> <p>5 番、香川議員</p> <p>懸念されるのが、今、厚沢部町の水道水というのは相生水源地 1 箇所を源として、全家庭に水道水という形で供給されているわけです。そうなってくると、もし仮に水源地が使えないとなると、この厚沢部町の水というライフラインを失うことになる、極めてすごく重要な施設だと思うのですが、その辺を踏まえてもし今後急な大雨がさらに降ったとなった場合、やはりそこは早急に対処しないとライフラインに係わる部分なので、私は早急に事を進めていかなければならないのではないかと思うのですが、考えをお聞かせ願いたいと思います。</p>
<p>議 長 町 長</p>	<p>町長</p> <p>今香川議員からのご質問でありますけれども、当然厚沢部町の水を守らなければならない、町民の水を守らなければならないということで、早急に対応しなければならないと思っております。幸いにも、地下から水を引いているということでもありますので、今回の大雨では水源地を囲っている柵がちょっといつているというのと、その下流に大きく土砂が流れ込んだということでもあります。調査をしていただいてどういう方法が一番いいのかということ取り進めるということで、今回補正予算で提案させていただいたところでもあります。</p> <p>いずれにしても厚沢部町民の水が水源が 1 箇所ということでもありますので、これからも危機感をしっかり持って対応していきたいと思っております。</p>
<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>2 番、高田議員</p> <p>今の香川議員の質問に関連、町長の回答も受けての質問なんですけど、この間被害状況というのを産業厚生常任委員会のメンバーで見させてもらいました。これは一筋縄ではいかんという</p>

<p>議 町</p>	<p>長 町長</p> <p>私も水源地が1箇所ということで危機管理上問題あるなど考えております。過去にも、10年以上前だと思いますけれども、この周辺にもう1箇所水が湧き出ている所があるのではないかと調査したことがあります。この辺だろうと探したんですけど、その時は見つからなかったということでもありますので、これからそういう調査をですね、第二水源地の候補地ということで調査していきたいと思っております。</p>
<p>議 中 山 議 員</p>	<p>長 1番、中山議員</p> <p>香川議員、高田議員から質問があったんですけど、我々見てきた中で大変心配しました。ということは今調査しようとしている所が民地という部分が大変問題になるんだということで、課長から説明を受けました。その中で、果たしてその部分で解決できるかどうか大変難しいとの話もありました。町として反対側の方の、今高田議員が言ったように代替えというようなことで考えられることも、今後調査していかなければならないのではないかと思います。町長としてこの向かい側、反対側の水源地ということで、用地は確か町有地になっていると思うんですけど、その辺についての考え方があるのかどうか、今回の調査を進めていくのかどうか、その辺について詳しく説明していただきたいと思います。</p>

議 町	長 長	町長 新たな水源地を探していきたいというお話しをさせていただいたと思います。それがたまたま反対側にそういう水源地があるのかどうかと、それもわかりませんので、そういう箇所が町内にないか、ここ以外でもですね、小鶉の川の上流以外にもあるかないかということも含めて、調査をしていきたいということであります。
議 中 山 議	長 員	1番、中山議員 それも含めてですけど、反対側の山は町有地ですよ。その辺ちょっと確認したいんですけども。
議 町	長 長	町長 どの範囲まで中山議員が町有地かどうかと言われているかわかりませんが、町有地もありますし、国有地もあると思っております。少し下流側になると民地も当然あると思っております。
議	長	他に質疑ありませんか。（発言する声なし）
議	長	それでは質疑を集結します。
議	長	討論に入ります。
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第1号、原案どおり決したいと思います。これにご異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。
議	長	したがって議案第1号、令和7年度厚沢部町一般会計補正予算について、原案どおり可決されました。

議	長	日程第6 議員の派遣について、おはかりします。
議	長	会議規則第120条の規定によって、お手元に配布のとおり議員を派遣することにしたいと思 います。
		これにご異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。
議	長	したがって、お手元に配布のとおり、議員を派遣することに決定しました。
議	長	以上で、本臨時会に提出された案件の審議、全部終了しました。
議	長	これをもって、会議を閉じたいと思います。
議	長	令和7年第4回厚沢部町議会臨時会、閉会いたします。ご苦労様でした。（10：36）